

山行名	黒戸尾根(甲斐駒ヶ岳) # (2967m)山梨県
実施日	2017年9月2日[土]~3日[日] 1泊2日 移動手段:マイカー、バス、電車、タクシー
レベル/参加人員	レベル:★★★★ 参加人員:11名(男性6名、女性5名)
パーティスタッフ	CL: SL: 会計: 救護: 写真:
参加メンバ	省略
費用	マイカー2台使用料:@10*280kmx2台=¥5,600、ドライバ謝礼:@5000*2日x2台=¥20,000、高速道路代:@¥2,730(圏央厚木~長坂IC)x往復x2台=10,920円、駐車場代:@¥1000x(2日間)x2台=4,000円 燃料代:@120*280km/5+@120*280km/8=10,920円、電車代(@¥580 甲府駅→長坂駅)、タクシー代(長坂駅→尾白川キャンプ場)3610円+4050円(ジャンボ)=7,660円、バス代(750円(北沢峠→広河原)+2050円(広河原→甲府))x11=30,800円、山小屋宿泊代:@¥8,200*10名=¥82,000、テント:600円 カンパ金:¥630 合計:179,510円 ⇒ 1人当たり費用: 山小屋:17,010円/人 テント:9,410円/人

## 歩行時間/行動時間

	9/2[土]			9/3[日]		
	歩行	休憩	行動	歩行	休憩	行動
計画	6:50	0:45	7:35	6:25	1:25	7:50
実績	6:25	0:45	7:10	6:30	0:45	7:15

## 実行コースタイム記録

◆9/2(土)	0:30	1:10	0:15
市内各所==圏央厚木IC==談合坂SA==長坂IC==長坂駅==	5:00	5:20	5:50~6:00
尾白川渓谷駐車場	4:05	0:40	0:50
笹ノ平	7:35~7:45	11:50	13:30~13:40
刃渡り	休息3回	12:30~12:40	14:55
刀利天狗			
5合目小屋			
七丈小屋			
◆9/3(日)	1:00	1:35	1:40
七丈小屋	4:55	5:55~6:05	7:40~7:50
八合目	0:45	0:25バス	1:55バス
頂上			0:35電車
(摩利支天)			中央道
駒津峰	9:30~9:40	10:45~10:55	11:25
仙水峠			
仙水小屋			
北沢峠==広河原==甲府駅==長坂駅==厚木IC==厚木市内	12:10~12:30	12:55~13:05	15:00~15:05
			15:45~16:30
			21:00
			21:30

## コースの概要、特記事項、反省事項等

台風が停滞し天候の判断が難しかったため、有識者の助言を受けて実施可否判断を前日に延ばさせてもらい、9/2のAMは樹林帯の風雨の中を進むことを覚悟で、9/3の晴天を信じて決行することにした。

**9/2[土]** 早朝は、予定通り厚木市内は土砂降り、市内各所でピックアップ後、定刻の5時に厚木を出発。中央高速道走行時には、小雨がパラつくレベルに回復し、甲府市内では、曇り空となっていた。長坂駅で予約したタクシーに定刻に乗車し、尾白川渓谷駐車場に到着。竹駒ヶ岳神社の参道から登山道に入っていく。日本三大急登の一つだそうで、今日は1600mを登る予定がなかなか高度を稼げない。順調に歩き続けて鎖場に到着。これが、刃渡り?と拍子抜けしながら通過すると、梯子が多くてでくるとなると、5合目小屋から七丈小屋までは、梯子と鎖の連続で、まさに急登となったが、スキルの高いメンバーは危なげなく山道を進み、雨にも降られず気温も低かったことが幸いして予定よりも早く七丈小屋に到着した。途中の山道は、花崗岩が砕けた白い砂がスジ状に水の流れた後を示し、信仰の山らしく幾つも祠や石碑があり、一面緑に苔生した中の様々なキノコが生え、鎖あり、梯子ありと変化に富み、楽しく歩くことが出来た。

山小屋は、部屋は快適な上、スタッフとても親切で好印象。早々に、いつもの宴が始まり大量に持ち込んだものは、ほとんど消費して早々に就寝した。テント泊好きなM.Kさんは、一人テント場に離れたが、お節介な3名が夜道を200mも歩き、寝ているM.Kさんを起こして、また呑んでいた。

**9/3[日]** 4時ごろ起床、星降る空を確認して準備。5時前には、M.Kさんも合流し、ライトを着けてスタート。最初から急登、肌寒い状態からすぐに汗ばむ。途中から朝日が当たり、周囲を赤く染め始めた。急登の山道を登りながらご来光を鑑賞し、しばらく進むと開けた八合目御来迎場に到着。そこから青空と遥か遠方まで見通せる景色に感嘆の声をあげながら山頂に到着。景色は最高! 八ヶ岳、鳳凰三山、北アルプス、富士山と360度のパノラマビューを満喫した。集合写真を撮って下山開始、帰りのバスの時間を気にして全員での摩利支天への寄り道はやめて、物好きな3名だけがピストンし、遅れて合流することとした。黒戸尾根からの山道とは様変わりし、たくさんの人とすれ違いながら下る。駒津峰の手前から岩層が変わり黒っぽくなる。駒津峰で別隊の3名と合流。駒津峰で青空に巨大な白っぽい甲斐駒ヶ岳を堪能した後は、ひたすら下る。仙水峠からゴロゴロの岩道を歩き、仙水小屋の手前くらいから清流沿いとなった山道を下って北沢峠を目指す。健脚メンバーのおかげで休憩バツファを利用することなく予定よりも早く北沢峠に到着。定刻バスよりも1時間早く臨時便が出たことが幸いし、その後の乗り継ぎも順調で長坂駅に早々に到着。渋滞を気にして温泉を割愛し食事をして帰路についた。帰りの中央高速道路では予想していた以上の交通渋滞(30km)にはまりながら、21時過ぎに厚木に帰着した。

広河原⇒甲府駅のバスは、一つ手前の竜王駅で下車すれば、もう少し時間を節約できた。 以上 -